



**MONET社 バイナリ差分アップデートソフトウェア
「RTPatch for Windows」の Windows7 対応を発表**

ソリューションプロバイダーである(株)MONET(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:前野泰章)は、米国ポケットソフト社(本社:米国ヒューストン 社長:ウイリアム・ワイズ)のデータ・アップデート・ソフトウェア「RTPatch for Windows」がWindows7に対応したことを発表しました。

Windows7への正式対応は、RTPatch for Windowsの最新版である、バージョン11からになります。

RTPatchはデータやプログラムをアップデートする際に、旧バージョンからの変更箇所をバイナリ・レベルで抽出して差分パッチを作成します。バージョンアップを差分パッチで行うことで、プロセスを簡略化すると同時に、最新版の配信コストを激減させます。この際、差分パッチのサイズはオリジナルデータの最大99.9%までの削減が可能です。

日々肥大化、複雑化するソフトウェアにおいては、アップデートに関連する開発者の負担は増大する一方です。また情報家電においては、開発サイクルの短縮化や品種の増大によって、迅速かつ低コストでアップデートを行う事が益々重要になっています。アップデートデータ量を大幅に削減する事が、配信時間とコストを圧縮し、TCOの削減、さらには競争力強化に繋がります。

主要なOSやアンチウイルスソフトウェアなどでは、差分による自動アップデートが既に一般的ですが、RTPatchはその多くに標準採用されており、事実上のデファクトスタンダードとなっています。RTPatchは、これらと同様のアップデートの仕組みを簡単に実現するフレームワークを提供します。

商用ソフトウェア、自社内開発アプリケーションやオンラインゲーム、カーナビをはじめとする組込ソフトウェアなど、国内外で幅広い実績をもつRTPatchは、Windows 7に正式対応することで、適用範囲の拡張を図りました。

RTPatchは他に、Linux/UNIX版と組込ソフトウェア用のEmbedded版が用意されています。

■「RTPatch for Windows バージョン 11」

特徴

- Windows7 への正式対応
- Auto RTPatch: クライアントモジュールが自動的にパッチファイルを取得し適用
- アプリケーションからのAPI呼び出しで、パッチファイルを取得し適用
- EZPatch: 自己適用型パッチファイル(exe形式)
- Web RTPatch: Webブラウザ経由でのアップデート
- パッチ適用モジュール(DLL): コマンドラインや他のプログラムから起動してアップデート

標準価格

120万円/開発者ライセンス

動作環境

パッチ作成(Build)のO/S: Windows NT、2000、2003、XP、Vista、7

パッチ適用(Apply)のO/S: Windows 9x、Me、NT、2000、2003、XP、Vista、2008、7

■MONET社について

(株)MONETは、セキュリティおよびネットワークのソリューション・プロバイダーとして2002年12月に設立されました。海外の優秀なベンダーとのパートナーシップを中心に、セキュリティ関連のソフトウェアの販売、コンサルティング事業を推進しています。RTPatch以外の取扱製品として、大容量データ差分抽出ソフトウェアのdfc-gorilla(米国PocketSoft社)、サーバ暗号化ソフトウェアVPDisk(米国Protegrity社)、統合型ログ監視・分析ソフトウェアHUNTSMAN(豪州Tier-3社)があります。

■ポケットソフト社について

ポケットソフト社(本社:米国テキサス州ヒューストン)は、1986年に創立されました。以来、バイトレベルのパッチングシステムの先駆者として業界をリードして参りました。現在では、あらゆる主要PC、ワークステーション、ミッドレンジ、そしてメインフレームに RTPatch を提供しています。コアアップデーティング技術を継続的に研究し、製品の安定供給、機能アップグレードおよび関連新製品の開発をおこなっています。

お問合せ先

株式会社MONET

ソリューション事業部 営業部

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-7-5 石川興産ビル4階

TEL : 03-5256-5171 FAX:03-5256-5172

Email : info@monetz.com

H P : www.monetz.com

*本文中の会社名および製品名は、各社の登録商標または、商標です。